

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

毎週日曜発行
2026 9/27

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ



はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

④1

千葉県で8月、記録的な大雨で道路やアンダーパスが冠水し、多くの車が水没する被害が発生しました。福島県いわき市でも冠水したアンダーパスに車を取り残され、亡くなった方が出ています。こうした被害は、私たちが暮らすまちでも起こる可能性があります。「洪水」と聞くと、川があふれる様子を思い浮かべるかもしれませんが、しかし近年は、川があふ

れていなくても道路や住宅地が水に漬かる被害が増えていきます。昔は雨が降ると、土の地面に雨水が染み込みましたが、都市には道路や駐車場がたくさんあり、地面の多くがアスファルトやコンクリートで覆われています。そのため雨水が地面に染み込みにくく、下水道や排水路へ一気に流れ込みます。

大雨の冠水被害

また、ゲリラ豪雨と呼ばれる短い時間に大量の雨が降ることが増えていきます。下水道や排水路で流し切れなくなった雨水は、道路やマンホールからあふれ出します。これが都市型水害と呼ばれる「内水氾濫」です。

冠水した道路は水の下にマンホールや側溝、道路の段差が隠れていることがあり大変危険です。水位が上がると車のドアが開きにくくなり、外へ逃げるのが難しく

なる場合もあります。大雨のとき、「前の車が通れたから大丈夫」「いつも通っている道だから大丈夫」と考えてはいけません。家族と一緒に、自宅や通学路の近くに冠水しやすい道路やアンダーパスがないか確認してみましょう。危険だと思ったら近づかない。引き返す勇氣を持つことが命を守る

ことにつながります。(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

危険な場所に近づかない

大雨の日 まちに潜む危険な場所

都市型の内水氾濫
(大雨で排水が追いつかないと起きる)

雨水逆流

マンホール

用水路や側溝にも注意

ふたがあいていると落ちる可能性があるよ

車で走っているときの注意ポイント

冠水注意! 高さ制限3.3m

雨水がたまりやすいアンダーパス

★水深が浅くても、流れがあると車でも簡単に流されます

タイヤの高さ
マフラーの高さ

③ 50cm
② 30cm
① 10cm

① 10cm ブレーキが効きにくい ② 30cm エンジン停止
③ 50cm 車体が浮き流される

イラスト・本郷由紀子



この日 何の日

◇27日(日) 女性ドライバーの日

1917年のこの日、栃木県の渡辺はまさん(当時23歳)が女性として初めて自動車免許を取ったんだよ。今はバスやタクシーも女性運転手が普通だけど、当時は女性が車を運転する仕事にはまだ就けなかったんだ。

きょうの紙面

- 2面 やさしいにほんごニュース
- 3面 連載「古代のモンスター」
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 今週の英語News
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ